

# とうにうん

NO.73号 2020年 6月 23日  
J R 東海 労 東二運分会  
責任者 齊藤厚志  
編集 教宣部

緊急事態宣言解除されたが終息していない  
第2波どころか、まだ第1波は続いている

夜の歓楽街での感染が拡大している！

新幹線の運行を感染前の状況に戻すのは時期尚早！

緊急事態宣言解除、東京アラート解除されたが、感染状況は  
何も変わっていない！慣れたただけだ！現状は拡大している！

「新型コロナの怖さ！油断させる！」「医療崩壊の怖さ！」

世界中の感染者が800万人を突破、死者40万人を超えた。日本では、  
マスクなどは第2波に備えると言うが、コロナの感染は何も終息してい  
ない第1波は続いている。ただ、慣れてきたのではないか？無症状者や発症前  
の人達が広げてしまう。「コロナは怖いウイルスである！」

コロナと共存する生活環境？（陰性後の後遺症！）

コロナ対策自粛で人命を守る？自粛によって経済が瀕死の状況であり、倒  
産、自殺など拡大している。陰性後の後遺症に苦しんでる人もいる。コロナ  
によって生活環境が一変したが、生きていく為には、コロナと闘い仕事をし  
て行くしかないのかも知れない。そのため個人や事業関係者への補償、感  
染者の医療体制の整備など、医療崩壊を招かない体制を確実に備える事であ  
る。

私たちの職場の環境は怎なのだろう！

「緊急事態宣言解除」「東京アラート解除」「休業要請」全面解除したが、夜  
の歓楽街では感染者が拡大している。「クラスター」による感染で、若者に感  
染者が増加している。県をまたぐ事も解除により、新幹線にもお客様が多数  
戻って来る。それに伴い、乗務員の感染確率が高くなる。

現在、職場では3密防止に待機室の椅子を開けて使用しているが、日勤自  
宅が解除され、椅子に座れないぐらいに密になっている。

新幹線車内における乗務員の業務内容、職場の待機室、他職場の待機室、その他環境をコロナ対策防止のため、改めて改善して行く必要がある。

コロナの状況に多少慣れてきたのか、感染前の態勢に戻すのは時期尚早！  
「油断」してはならない。

**経済的危機はあるが、コロナから命を守ろう！**